

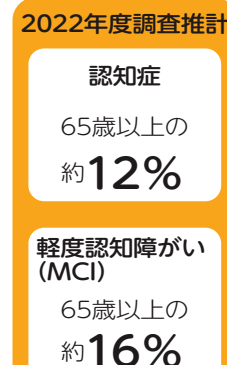
NINCHISHO 認知症 でも 自分らしく

9月21日は「世界アルツハイマーデー」、そして9月1日は「認知症月間」です。これは、認知症への理解を深め、認知症の人とその家族を温かく支える社会づくりを目的として、世界中で啓発活動が行われる期間です。町でも、認知症に関するさまざまな取り組みを進めています。皆さんもこの機会に「認知症」のこと、考えてみませんか。

問合先 役場福祉介護課 ☎47-5045

認知症とは？

「認知症」とはさまざまな病気により、脳の神経細胞の働きが徐々に変化し、認知機能（記憶・判断力など）が低下して、社会生活に支障をきたした状態のことをいいます。



厚生労働省の2022年の調査推計によると高齢者の「4人に1人が認知症またはMCI」と言われており、誰にとっても身近な症状といえます。なお、MCIの人が必ずしも認知症になるわけではなく、早期の対

知っておきたい

新しい認知症観

「認知症になると何も出来なくなる」「周りがすべてを助けてあげなければならぬ」。そんなイメージを抱いていませんか？

「新しい認知症観」とは、認知症になっても地域や仲間とのつながりの中で「自分らしく」暮らし続けることが出来るという考え方で、2024年1月に施行された「認知症基本法」でも、この考え方が土台となっています。

募集

1 オレンジリンクス ORANGE LINKS

町では、認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるように、応援していただける店舗・事業所などを募集しています。

- ▶登録条件(下記のどちらかに協力いただくこと)
- ①職員・スタッフなどが「認知症サポーター養成講座」を受講していること(1人でも可)
- ②認知症ガイドブックや認知症カフェなどの資料、チラシを店内に掲示または設置すること
- ▶申込方法 電子申請または役場福祉介護課に直接申し込む
- ▶申込開始 9月18日(金)

協力店舗・事業所などには
ステッカーを配布します

申込・詳細はこちら▶▶▶



募集

2 みんなの講座 「認知症サポーター養成講座」

認知症の症状や対応などを解説。認知症を正しく理解し、地域で自分らしく暮らす当事者を温かく見守る「認知症サポーター」を養成する講座です。

- ▶内容 認知症の基礎知識、接し方のポイント
- ▶対象・費用 町内に住んでいる5人以上のグループ・無料
- ▶受講のしるし 講座修了者には、サポーターの証であるカードとオレンジリングをお渡しします。

申込・詳細はこちら▶▶▶



認知症サポーターキャラバン
マスコットキャラクター「ロバ隊長」▶▶▶



広げよう NINCHISHO 認知症 支援の輪

認知症に関連した町の取り組みを紹介します。取り組みに参加して、認知症の支援の輪を皆さんで広げてみませんか。

オレンジガーデニングプロジェクト



「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこう!」という思いを共有し、全国各地でオレンジ色の花を咲かせるプロジェクト。町内でオレンジの花が咲いている場所を探してみてください。

認知症ライブラリー

認知症に関する書籍や各種資料の閲覧・貸出を行っています。

- ▶設置場所 役場福祉介護課窓口前



認知症カフェ



認知症の人やその家族、地域住民、専門職が気軽に集まり、交流や相談できる場所が「認知症カフェ」。町では2カ所で開催しています。

オレンジカフェ

- ▶日程 偶数月の第1木曜日(祝日を除く)
- ▶時間 午後2時～3時30分
- ▶会場 中央公民館
- ▶参加費 無料 ※事前申し込み不要。



虹いろカフェ

- ▶日程 奇数月の第1木曜日(1月は第2木曜日)
- ▶時間 午後2時～3時30分
- ▶会場 高島公民館
- ▶参加費 無料 ※事前申し込み不要。



NINCHISHO 認知症 展示

認知症観アップデート



町では、認知症月間に合わせて、認知症に関するパネル展示を行います。皆さんも認知症観をアップデートしてみませんか。

▶開催期間

9月17日(木)▶30日(水)

- ▶時間 午前8時30分～午後5時15分(土日祝を除く)
- ▶場所 役場1階エントランスロビー
- ▶内容 新しい認知症観・認知症のパネル展示、邑楽町オレンジガーデニングプロジェクト写真展示、認知症の関連資料コーナーなど

TOPIC

認知症の人の暮らしを支える仕組み

「どこシル伝言板®」

QR付きシールを身に付けた高齢者が、認知症などにより行方不明になった際、発見者がQRをスマホで読み取ることで、家族に通知が届くシステムです。お互いの個人情報を伏せたまま匿名で連絡が取れ、早期発見を支援します。

シール見本



地域包括支援センター ☎80-9300

地域包括支援センターとは認知症に関する困りごとや介護の不安を相談することのできる地域の相談窓口です。保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員などの各種専門職があり、専門機関と連携し総合的な支援を行っています。